

★チャレンジ! 夢に向かって★

* ~ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成~

6月は食育月間～伝えたい、食の大切さ～

本校では学校の教育活動を通して目指す子どもの姿の一つとして「がんばり抜く子ども（生命を大切にし、生命を輝かせて日々努力する子ども）」を掲げています。そのため「生命を大切に」につながる健康の大切さについては、1年を通して子どもたちや保護者の皆様に伝えていきたいと考えています。特に、6月は平成17年6月に食育基本法が成立したことから「食育月間」とされており、全国各地で食育に関する様々な取組が行われています。本校では、給食を生きた教材とし、給食を食べる前に子どもたちが給食センターで作成した「こんだてひとくちメモ」を読み、食べ物や栄養、そしてバランスのよい食べ方等について子どもたちが学ぶ機会をつくっています。

6月18日（火）に東部学校給食センター所長の〇〇〇さんと栄養教諭の〇〇〇先生が給食時間の子どもたちの様子を見に来てくださいました。給食の前に〇〇先生から「給食センターでは1日に何人分の給食を作っているのでしょうか？」というクイズが出されました。何と、900人分の給食を21人の職員の方が朝早くから準備し、作ってくださっているそうです。実際に給食センターで使っている大型しゃもじも持ってきてくださいました。この日のメニューは子どもたちに大人気のカレー。食缶の中があっという間になくなり、ほとんどの子どもたちが完食していました。〇〇所長や〇〇先生もその様子をうれしそうに見ていました。



学校給食は、食材の生産者や調理員など多くの方々が心を込めて作っています。こうした皆さんに感謝の気持ちを持ち、残さず食べようとするのは大切なことだと私は考えています。食べることの意味や自然の恵み、そして勤労の大切さについて考え、感謝の気持ちを込めて「いただきます」「ごちそうさま」など食事のあいさつができ、大切に食べようとする態度をこれからも子どもたちに育成していきたいと思えます。

太田地域CS連携協議会（研修会）について

6月14日（金）に文書にてお知らせしておりますが、7月25日（木）午後2時から太田文化プラザにて、太田地域CS連携協議会（研修会）を行います。

太田地区の小・中学校はCS（コミュニティ・スクール）の指定を受け、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を令和4年度から進めています。これまでは、12月下旬に教職員と保護者による熟議を行ってききましたが、今年度はその熟議を行わず、講演を聴いて参加者同士で協議するという形の研修会にしました。講演は、昨年度まで秋田県教育委員会の教育次長を務めてこられた〇〇〇先生（現在は秋田大学の教授）です。長年にわたり、秋田県の教育を牽引してきた方です。なかなか話を聴くことができない、貴重な機会です。御都合がよろしければ、ぜひ御参加ください。なお、参加の可否については6月28日（金）まで学級担任にお知らせください。